

令和6年度第1回天童市総合教育会議議事録

総務部総務課

1 日時 令和6年11月21日(木) 午後1時30分から午後2時28分まで

2 場所 本庁舎「3階会議室」

3 出席者

(1) 出席構成員

天童市長	山本信治	教育長	相澤一彦
教育委員	村山晴香	教育委員	松村昌子
教育委員	大内あゆ子	教育委員	工藤昭広

(2) 説明のため出席した者の職氏名

教育次長	松本孝志	学校給食センター所長	伊藤明
学校教育課長	伊藤顕吾	生涯学習課長	押野一貴
教育総務課課長補佐兼庶務係長	蜂谷幸太		

(3) 事務局職員の職氏名

総務部長	湯村耕司	総務課長	山口淳
総務課課長補佐兼行政係長	丸子正彦		
総務課主査	佐藤佳行		

4 議事録署名員 教育長 相澤一彦

5 次第

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 協議・調整事項

ア 教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について

イ 天童市の教育等の振興に関する大綱の策定について

(4) 閉会

6 会議の内容

発言者	発言内容
丸子課長補佐 (司会)	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>(1) 山本市長</p> <p>(2) 相澤教育長</p> <p>3 協議・調整事項</p>
山本市長	<p>それでは議長を務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>まず、天童市総合教育会議運営要綱第4条第2項の規定により、議事録署名員を指名させていただきます。</p> <p>相澤教育長にお願いしたいと思います。</p>
相澤教育長	<p>はい。</p> <p>(1) 教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について</p>
山本市長	<p>最初に、「教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について」説明を求めます。</p>
伊藤学校教育課 長ほか	<p>(資料に基づき説明)</p>
山本市長	<p>ただ今説明がありましたが、皆様から御意見、御質問がありましたらお願いします。</p>
村山委員	<p>英語教育パワーアップ事業について、娘も実用英語技能検定を受け、無事合格することができた。実用英語技能検定を受けるため、勉強をしようという意欲が友達の中でも高まっていて、良い環境だと思った。親の立場としては、受験料が無償ということで、どんどん挑戦しなさいということが言えるのでありがたいと思う。娘が鶴岡の高校に通っているが、天童市が実用英語技能検定の受験料を無償にしていることを英語の先生が知っていて、本当に羨ましいと言っていた。</p>

<p>大内委員</p>	<p>また、図書館のリノベーションのイベントで、カフェができたらどのように利用するかについてのワークショップに参加したが、市民や私を含め、新しい図書館を楽しみにしているという意見が出ていた。子どもたちだけでなく私たちも楽しく勉強が続けられるような環境になるのは本当にありがたい。</p> <p>社会教育推進の中に、市文化財指定の西沼田遺跡でヌマリニックや、全部の公民館ではないが、芸能発表というものがある。芸能発表は、以前より発表者が半分に減っている。これは高齢化ということもあるかと思う。西沼田遺跡のヌマリニックではサポーターという方はいるが、全体的に高齢化になっていて、見ていて大変だなと思った。公民館の文化祭や西沼田遺跡のヌマリニックは、市内の中学校の子どもたちの力を借りて、例えば中学校のサークルの人たちからお手伝いしていただければうれしいなと思う。全体的に高齢化になっている中で、若い方の力をお借りしたい。そのためには、若いと言ってもこれから伸び盛りで、地域の中で育っていく中学生の子どもたちにお手伝いしてもらえたらうれしい。</p> <p>あと、学校訪問をさせていただいているが、全体的に先生が若くて元気だなと思った。山形大学教育学部がこれから再開するというので、ますます若い教育者が県内に来て、活発な授業を通して子どもたちと接していただければと思う。</p>
<p>松村委員</p>	<p>天童市の教育等の振興に関する大綱の基本目標である夢を持ち生きる力を育てるという素敵なタイトルに基づいたしっかりした施策を立てていただきありがたいと思う。</p> <p>天童市内を車で運転している時に、足が不自由な方や体が不自由な方も元気に天童の街中を歩いている風景を数年前より見ることがある。とてもうれしいことだと思う。多様性という時代の中で、天童市が率先していろいろな体の個性を持った人達が出た姿をたくさん見ることができ、私は日々それを感じ、とてもうれしく思っている。</p> <p>インクルーシブ支援員を小学校4校に配置と資料に書かれているが、そのような子どもたちが一緒に歩いていける天童市になってきたことを非常に感謝している。また、学校に行</p>

<p>工藤委員</p>	<p>った時に、子どもたちが悩みを伝えて、相談できる体制を整えていただいている。</p> <p>これからますます天童市の教育が、そのような方たちが元気に生活でき、そして子どもたちは教育を受け、社会へ自立してしっかり生きていける教育をしていただけたら、ありがたい。</p> <p>資料の3ページで、先ほど村山委員からもあったが、実用英語技能検定試験の受験者がずいぶん増えたと、受験者が増えない事には合格者が増えるはずがない。昨年277人に対して、今年度は745人に増えている。3倍ぐらいに受験者が増えたが、現実的に合格者は何パーセントくらいいるのか気になった。</p> <p>資料の1ページのすこやかスクール充実事業の(5)になるが、COCOLO支援員ということで、別室学習に対する支援が今年度は3名、各校独自に配置しているということで、大変素晴らしいと思っている。それぞれの学校でどのようにCOCOLO支援員を活用しているのか質問させていただきたい。</p> <p>最後に感想ですが、天童市で今年度から中学校の給食無償化ということで、市長には感謝を申し上げたい。10月末時点で5千万円近く掛かっているわけですね。昨年度までは第三子以降との条件付きで、中学生が190万円前後の予算でしたが、それが5千万円以上の予算となり、その効果は素晴らしい。他市町村に天童市は素晴らしいことをしていると大いにアピールできるものだと思う。</p> <p>もし、学校教育課で、先ほどの実用英語技能検定試験の件やCOCOLO支援員の情報がありましたら、教えていただければありがたい。</p>
<p>伊藤学校教育課長</p>	<p>実用英語技能検定試験の件ですが、まだ結果が出ていない状況で、間もなく結果がでるのではと思っている。そして、間もなく第2回目の補助の申込が終わるので、詳細がわかれば、お伝えしたいと思っている。</p> <p>それからCOCOLO支援員について、工藤委員が言うとおり南部、中部、北部に各1名ずつ配置している。</p> <p>朝、なかなか学校の教室に顔を出せないお子さんを職員室</p>

山本市長	<p>または昇降口で出迎え、保健室や別室に連れて行く。別室で過ごしているお子さんについては、学習指導を行い、給食の時間に同じ学級のお子さんに迎えに来てもらう等、必要に応じて支援している状況である。</p> <p>COCOLO支援員の対象人数が減ったということで、他の学校は。</p>
伊藤学校教育課長	<p>実際には同じように課題を抱えているお子さんがたくさんいる状況である。特に、近年児童数が増えている学校では社会的背景や家庭的背景において課題を抱えているお子さんもたくさんいるので、今年度の要求で何校か増やしていただきたいとお願いしている。</p>
山本市長	<p>これをきっかけに人数が減ったということで、効果はあったと思っているが、まだ不登校児童が残っている。不登校というのは子どももそうだが、家庭崩壊にも繋がることもあることを考えると、さらに正面からしっかりと対策を講じても良い案件かと思う。</p>
相澤教育長	<p>今の質問に感動したことがあったので、お伝えしたいと思う。ある小学校でこんなことがあったそうだ。「校長先生、私学校に行きたくないから学校を休みたいんです。だけどCOCOLO支援員のいる部屋は行けそうなんです。」ということで、学校を休まず、COCOLO支援員のいる部屋にいたそうです。そして、次の日からは教室に戻った。ワンクッションになっている。それでその小学校は不登校児童が0人である。そういう心のケア、そこに行くとなんか見てくれるという部屋があるだけで、子どもや保護者も「家の子はCOCOLO支援員のいる部屋には行くんですよ。」と。それにより不登校にはならないということがあったのかなと考えている。</p>
松村委員	<p>先ほど私が申し上げた特別支援学級の交流、インクルーシブの交流の仕方について、学校の授業等でどのような形で交流をしているかをお話ししていただけるとうれしい。</p>

伊藤学校教育課長	<p>(インクルーシブ支援員の配置については) 知的特別支援学級で一学級に複数の学年が在籍している学級が対象になるわけだが、そのお子さんの特性によって、この授業であったら参加できる、この方向性であれば参加できるという場合にインクルーシブ支援員と一緒に学級に付いていく。その授業でサポートを受け、周りの子とうまくコミュニケーションを図りながら、一緒に学習ができるような環境を整えていただいている状況である。1人で交流に行くという状況だと、どうしても不安があり、うまく学習に馴染めないところがあるのだが、傍らでサポートが行われることで、安心して学習できている様子なので大変ありがたいなと思っている。</p>
山本市長	<p>他にございますか。</p> <p>(特になし)</p> <p>(2) 天童市の教育等の振興に関する大綱の策定について</p>
山本市長	<p>次に、「天童市の教育等の振興に関する大綱の策定について」説明を求めます。</p>
佐藤主査	<p>(資料に基づき説明)</p>
山本市長	<p>ただ今説明がありましたが、「天童市の教育等の振興に関する大綱の策定について」皆様から御意見、御質問がありましたらお願いします。</p>
相澤教育長	<p>大きな方針の中で教育デジタルトランスフォーメーションですが、新たに入ったという理由もわかるので、賛成しますが、実は今日教育委員会議が始まる前に各教育委員の方と話す中で、デジタル化が非常に進んでいるよねと、ただそこで失うものもあって、一つ一つの交流とか、温かさとかそういうのは失って悪いよねという話とか。私はこれ自体が反対というわけではなくて、人間の温かさを推進する上でも、これからの社会を生き抜くためにみたいなそういうところを、前置きに付けていただくのが良いかと思う。</p> <p>人間が豊かに生きるための教育デジタルトランスフォーメ</p>

<p>工藤委員</p>	<p>ーションというところを前提としてしっかりお願いしたい。</p> <p>先ほど教育大綱の5つの方針と15の基本目標ということで、教育長からあったとおり教育デジタルトランスフォーメーションの関わりで2つ増えているということは理解できたのですが。これまでの1番の方針は夢を持ち生きる力、2番の方針が社会の発展を牽引する人材の育成、その中にあった目標が今回新たに作成した大綱で、なんでこれがこの方針の中に入ってくるのか。</p> <p>例えば具体的な例を挙げると、今回から新しい方針の2番に夢を持ち生きる力があって、今度そこに入ってくるのが、これまで方針の5番に入っていた給食のことが入っている。</p> <p>あと、就学支援のことも今まで方針の4番に入っていたのが、方針の2番に入っていますよね。何でこういうことになるのか、整合性というか理解がまだ追いついていない。</p> <p>これまで担当課等が意見を出し合って、素案を作られているかと思うが、初めて見る人間にとって、なるほどこの方針に対して、こういう目標なんだと理解しやすい説明をしていただけたらありがたいと思う。</p> <p>これまで大きな13の目標があってこれもしなきゃ、いやあれもしなきゃとか増えていく中で、中身を精査していくことはとても大事なことだと思うのですが。なぜこの目標が今までこっちの方針に入っていたのに、今度の方針ではこっちに入ってくるのか腑に落ちないと思ったところがあったので。</p>
<p>松本教育次長</p>	<p>今回、提案した教育大綱は、令和5年6月に国で閣議決定された教育振興基本計画の項目立てに合わせた形になっている。中身につきましては、先ほどあったとおり教育デジタルトランスフォーメーションや教職員の働き方改革をプラスしているのですが、令和2年に策定したものをそのまま継承している部分がほとんどで、国で出された教育振興基本計画に項目建てを合わせたというものがあり、わかりづらくはなっている。</p> <p>令和2年に策定したものにつきましても、国の項目立てに合わせて作ったもので、非常にわかりづらくなっているが、中身につきましては令和2年のものを継承しつつ、国で示し</p>

<p>湯村総務部長</p>	<p>ている新しい項目も入れているような体系になっている。</p> <p>項目立てといたしますか方針はそうなのですが、果たしてその中に置くべきものなのかどうかというところにつきましては、なお改めてその内容と方針そのものの考え方の部分を精査して今後進めさせていただきたい。</p>
<p>松村委員</p>	<p>パブリックコメントを最終的に行うということで、しっかりと内容を精査しながら進んでいくと思うが、内容については今のところどのように進めていくのか。</p> <p>パブリックコメントということは市民にコメントを求めるわけですから、市民の方が全体像を把握しやすい方法について、今の段階でどのように考えているかをお聞きしたい。</p>
<p>湯村総務部長</p>	<p>パブリックコメントでは有意義な意見を頂くため、この大綱案をただ出すというよりも、背景にあるものも合わせて市民に提示した上で、様々な方から意見を寄せていただけるような進め方を考えている。</p> <p>実施の時期につきましては、2月中旬頃を予定しており、ただ今頂戴しました観点を含め、進め方を十分検討していきたい。</p>
<p>村山委員</p>	<p>感想的な事になるが、私のような素人が見ると、全体を通してというより、得意な所に目が行く。芸術文化活動・スポーツの推進に興味があり、昨日あった講演を聞き、子供達は勉強ばかりではなく、芸術文化活動・スポーツを通し、心を開放するという事も大切だと思ったので、こちらの方をないがしろにせず大事にしていきたい。</p> <p>パブリックコメントの件も、私のように全体的な事は言えないが、芸術の部門だったら言えるとか、家庭部門であればお母さんの立場で言えるとかあると思うので、細かく丁寧に市民に説明した方がいろんな意見が出てくるのかなと思う。</p>
<p>大内委員</p>	<p>地域学習支援事業の推進の中に、地域との緊密な連携の下と書いてあり、ある小学校だけなのかかわからないが、学校コーディネータという方が1人いて、他の小学校でもいるのか。</p>

伊藤学校教育課長	<p>小学校12校には必ず置いていただく方向でお願いしている。いろんな依頼の仕方があるので、地域の方で（地域の人材等を）よく知っている方に教頭先生等がお願いし、例えば、昔の遊びを知っている地域のおじいちゃんおばあちゃん何人かお願いしますという形で依頼して集めているのではないかと思う。ただ、1人に負担が掛かるということもあるので、来年度の制度設計については、学校コーディネータという形ではなく、いろんな方に担っていただけるような方向で進めたいと考えている。</p>
山本市長	<p>学校コーディネータは学校でお願いしているのか。</p>
伊藤学校教育課長	<p>はい。</p>
山本市長	<p>費用は。</p>
伊藤学校教育課長	<p>出ている。学校の方に委託している。これだけのお金を配当しますので事業を展開してくださいということでお願いしている。</p>
山本市長	<p>(3) その他</p> <p>何かございますか。</p> <p>(特になし)</p>
<p>4 閉会</p>	